

製薬企業退職し支援所開設

子供に寄り添う発達支援を模索

子供一人ひとりの発達に寄り添いたい——。そう話すのは、茨城県つくば市で児童発達支援所「ことばとこころの教室 カナデル」を運営する「NPO法人 発達はじめの一步」理事長で、薬剤師の染川武之さん。社会的支援が不足している発達障がい現状を知り、製薬企業を退職し今年6月にカナデルを立ち上げた。子供一人ひとりの個性に合った質の高い療育が求められ、答えがない難題に保育士や看護師、音楽療法士、言語聴覚士などの専門スタッフと話し合いながら、チームとしてどんな支援ができるのかを考える日々。壁にぶつかりながらの毎日だが、児童発達支援の先進事例として全国に発信できる日を夢見てチャレンジを続けている。

NPO法人 発達はじめの一步
理事長

染川 武之さん

つくば駅からおよそ2km離れたカナデルには、発達障がいを持つ子供と

その保護者が訪れる。

出迎えるのは、保育士や看護師、音楽療法士、言語聴覚士と様々な資格を持ったスタッフたち。教室では、子供一人ひとりの発達段階や特性に合わせて、人と関わる楽しさを育む「個別療育」が行われる。音や色、アートによる「音と形の療育」、友だちと一緒に遊びながら人の関わり方、ルールなどを楽しく学べる「グループ療育」も組み合わせている。

教室では机を挟んでスタッフと子供が向かい合い、子供のすぐそばで保護者が心配そうに見守る。母子(父子)同席による療育を大切にしている。

染川さんは「発達障がいを持つ子供の保護者は困難を抱えている。子供が課題をクリアした時のスタッフの喜びの顔、ほめている姿などを自宅に持



ち帰ってもらって、日々の生活の中に取り入れてもらえれば」と話す。カナデルは発達障がいを持つ子供の保護者支援にも力を入れている。

発達障がいは、生まれつき見られる脳の働き方の違いにより、幼児のうちから行動面や情緒面に特徴がある状態で、こうした特性が見逃されると子供が生きづらさを感じ、引きこもりや不登校、うつ病の発症など社会問題につながるとも言われている。早期発見・早期療育が重要だ。

オーダーメイド型の療育 プログラムは常に試行錯誤

カナデルの児童発達支援事業は、発達障がいを持つ子供一人ひとりに合ったオーダーメイド型療育プログラムの提供にこだわるのが特色だ。この業界では、療育を全国展開するために、スタッフが誰でも実践できる標準的なプログラムを開発する動きがある(8ページへ続く)



新卒生限定 10泊12日
ハワイ研修実施!

関西圏を中心に全国へオレンジ薬局を展開

初年度年収 450~550万

希望店舗での勤務OK! 働き次第で高収入も可能! あなたの頑張りを評価します!

- (株)プチファーマシスト
- (株)オレンジファーマシー
- (株)東京オレンジ薬局

全国に130店舗展開中!!

渋谷駅前店・池袋西口店・永田町・中津店
阿倍野店・芦屋店・菊川店・北浜店等

インターンシップ参加者募集

オレンジ・元気薬局

検索



薬剤師
国家試験
対策.com

薬剤師を目指す薬学生のための
国家試験対策支援サイトです



ご登録・ご利用完全無料

be89314 検索